

事業所名 多機能福祉施設 BILD 障害児通所支援 INGENU (重度心身障害児) 支援プログラム (参考様式) 作成日 2025 年 3 月 1 日

法人 (事業所) 理念		私たちは、人の尊厳を尊重し、ご利用者様だけでなくご家族様の側で真心のこもったサービスをご提供いたします。これからも、利用者様一人ひとりが本来持っている「その人らしさ」を発揮し、自己実現につながるような支援を目指します。					
支援方針		私たちは、子供たちが秘める成長の可能性に着目し、発達障害児や知的障害児の『療育』を重点的に行い、子供たち一人ひとりが本来持っている「その人らしさ」を発揮し、自己実現につながるような支援を目指します。 また、肢体不自由児を積極的に受け入れ、機能訓練を中心とした療育を行っていきます。色々な経験、様々な体験を通して、より多くの笑顔を目指し、様々な遊びやイベントなども工夫していきます。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康管理が必要な方はご家族と情報共有を行います。 生活リズムを身につけられるようにスケジュールの提示、同じ時間に食事、排泄誘導を行っていきます。 適切に医療的ケアを受けられるよう、こどもの医療濃度に応じた医療的ケアの実施や医療機器の準備、環境整備を行っていきます。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 外遊び・体操を通して体幹の強化、運動能力の向上を図れるようにしていきます。 セラピストにリハビリテーション、また助言してもらい姿勢保持・基本的技能の向上習得に取り組んでいきます。 季節を感じられる作品作り。指先や手で感覚や感触を感じ、興味を持ってもらえる取り組みを行います。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ブロック遊びなどを通じて、数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の認知機能の発達のための支援を行っていきます。 音楽やリズムを使って五感を刺激する感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行っていきます。 一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行います。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の表出や理解の幅を広げると共に、他者との適切なコミュニケーション方法を学ぶ支援を行います。 言語のコミュニケーションに限らず多様なコミュニケーション手段を活用して、意志の伝達や表出が出来るように子どもに合った方法で伸ばします。 絵カードやタブレット、身振り、指差し、サインなど個人に合った能力で意思伝達方法を見つけ支援に取り組んでいきます。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行います。 子ども達の思いに寄り添った声掛けや支援を行います。 他者と適切な距離感を保てるよう声掛けを行い、良好な関係を気付けるよう支援します。 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 送迎時の会話など随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談や参観する場を設け、ご家族の不安や困りごとへの相談援助を行います。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 学校、関係機関との連携
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 近隣スーパー、商業施設での買い物。 近隣の施設と合同でのもちつき大会の開催。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 虐待、身体拘束、感染症等に関する研修を実施 施設内での勉強会やケース検討の実施・定期的な支援者会議、ヒヤリハット事例について会議で共有し、再発防止策についての検討の実施
主な行事等		年1回…遠足 年2回…避難訓練 季節行事…季節ごとの散策、節分、水遊び、ハロウィンパーティー、クリスマス会、もちつき大会など					